

## 石川県根上町に落ちた隕石

渡 辺 誠

平成7年2月18日夜、石川県根上町に隕石が落下し、駐車していた車のトランクにぶつかり、穴をあけました。隕石本体(図1)は衝突の衝撃で一部がこわれましたが、本体はトランクの穴の上に残り、破片が付近に落ちました。穴は数cmですが、まるでつるはしで壊したかのような鋭い裂け目になっており、衝撃の激しさを物語っています。隕石本体は6cmの長さで丸い卵型をしています。重さは約325gでした。大気中を落下した際に表面が高熱になり、黒く焼け焦げていますが、内部を見ると、宇宙空間で形成された石の样子がわかります。また、車のトランクに衝突した際に付いた塗料やひびわれを見ることができ、塗料の様子から隕石は回転しながら落ちてきたことがわかります。

この隕石は金沢大学等で分析され、球粒を持つ石質隕石と呼ばれる隕石であることがわかりました。ルーペで見るとたくさんの小さな鉄の粒を見ることができます。

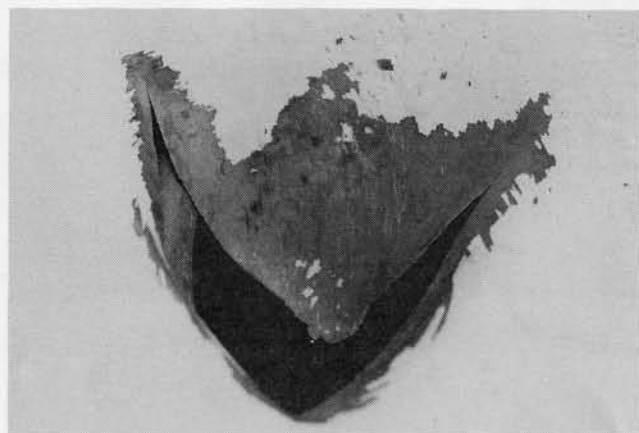
科学文化センターでは2月21日に現地を訪れ、隕石の落下した家の人の許可を得て、付近を調べたところ、隕石のかげら3片を見つけ、うち2片を当館の資料として寄贈していただきました。

この隕石は3月3日から当館2階ロビーで展示されています。

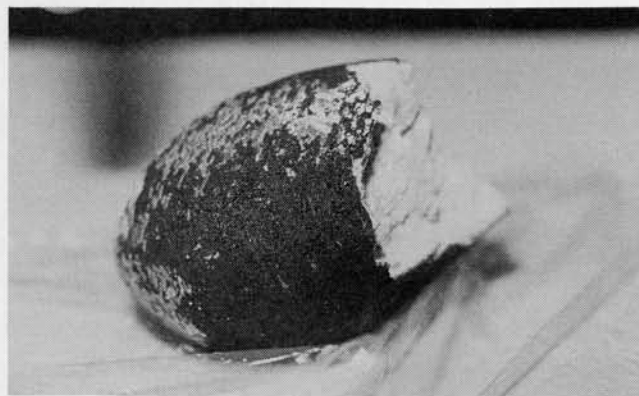
なお、隕石は全国で44ヶ所に落下したことが確認されており、北陸では富山県1件だけでした。

また、当館で隕石落下に伴う流れ星の目撃の報告を呼びかけましたところ、隕石落下に関係が深いと思われる流れ星の目撃が2件ありました。それによると、夜中の12時頃に青白い光の流れ星が北北西の空から北西の空にかけて流れ、途中で二つに分かれたようです。

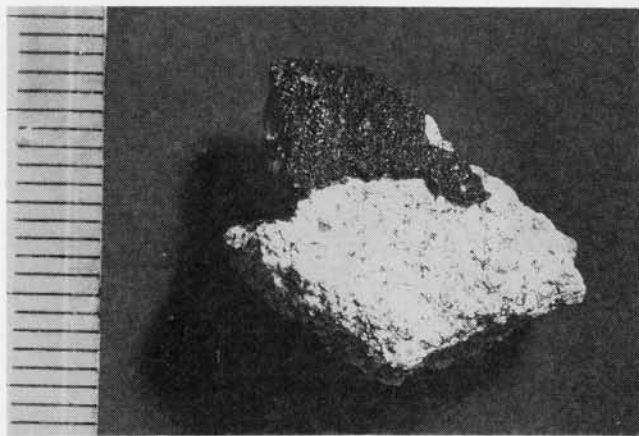
渡辺 誠・わたなべ まこと(天文担当)



隕石で開いたトランクの穴



根上隕石(本体)(長径、6cm)



根上隕石のかげら(2.1cm×1.4cm)